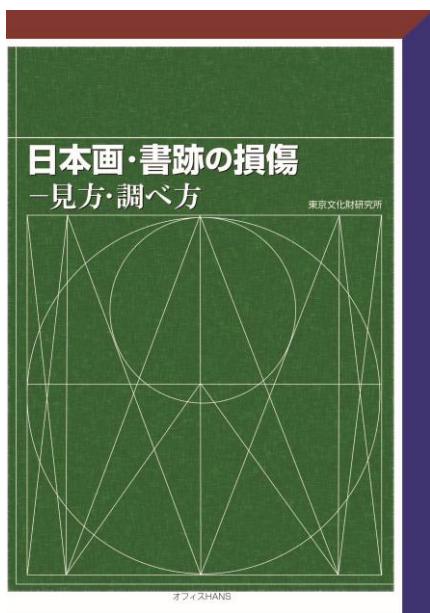


日本画・書跡の損傷—見方・調べ方

A5判 112 ページ・カラー 東京文化財研究所・国宝修理装潢師連盟／著

定価（本体 1,800 円+税）



日本の伝統的な絵画、書跡、板絵などいわゆる書画文化財は、オリジナルの品質・状態をできるだけ長く保つために、高度な知識と保存・修復技術が必要とされています。本書は、日頃そうした文化財の修理作業に携わっている専門技術者たちが、作業実務の基本と実際についてわかりやすく解説したものです。豊富なカラー写真と図版を駆使して、損傷や劣化の原因とその対処方法をはじめ、修理材料や周辺技術にも触っています。国宝や重要文化財はもちろん、内外の美術館や博物館で文化財の保存・修復にかかわっている関係者、さらに、これから文化財修理の世界に進もうと考えている人たちに最適のテキストです。

●主な内容

Part.1 構造体に起因する損傷と対処法

軸装／幀装／帖装／板絵

Part.2 基底材の材質と技法に起因する損傷・劣化

絹本／紙本(料紙)

Part.3 外的要因による損傷・劣化

生物被害／自然災害、盗難などによる被害／さまざまな外的被害／人間に起因する損傷

Part.4 過去の不適切な修理に起因する損傷

良質ではない材料を用いたことによるもの／本紙に負担をかける処置の選択によるもの／剥落止め処置によるもの

Part.5 修理材料・周辺技術

保存箱／軸首／表装裂地／裏打紙／補修絹・補修紙／顔料／小麦澱粉糊・古糊／膠その他
の接着剤